

市立農業経営者育成学校「SEADS（シーズ）」は、農業の担い手を育成する施設として令和2年4月に開校しました。SEADSニュースでは、研修生の研修の様子や取り組みなどを紹介してまいります。

市内各地の農家のもとで実習を行っています

<1期生（2年生）>

一人一人が研修を希望する品目に応じた受入先で実習に励んでいます。間近に迫った「就農」を意識し、日々主体的に研修に取り組んでいます。

<2期生（1年生）>

入校式翌日（4月7日）の実習受入農家との顔合わせを皮切りに、西郷や藤島、羽黒など市内各地の水稻・園芸農家のもとで、4月16日から本格的なマンツーマン実習がスタートしています。また、5月13日には庄内農業高校で果樹実習を行いました。入校から約1カ月、本市での新しい生活に日々奮闘中です。



県立庄内農業高果樹教諭から指導を受ける2期生
(5/13於：同校果樹園)

自習環境の整備を進めています

(1) 練習用トラクターの導入

研修で学ぶ基本操作技術を踏まえ、更なる技術習得を目指して練習できる環境が整いました。



早速トラクターに乗り、
自習に取り組む研修生 →

(2) 自習用パイプハウスの設置

7月、SEADS敷地内の自習用ほ場内への設置を予定しています。

メーカーに協力・指導頂き、研修生自らハウスの構造や建て方を学びます。

「いこいの村公園」の環境整備を行います

5月29日、「いこいの村公園環境保全サポートクラブ」（事務局：鶴岡市）を主体に「いこいの村公園」の環境整備（除草・清掃作業）を実施します。

市民ボランティアの皆さんと一緒に、研修生も作業に参加します。

<実施予定図>



★ 研修生の主な声を紹介します

- ・農作業は想像以上に大変だが、体力的にもだいぶ慣れて来た。（2期生）
- ・庄内弁がだんだん理解できるようになってきた。（2期生）
- ・就農計画に沿った実習先で学ぶことができている。（1期生）
- ・担任やアドバイザーからサポートを受けられるので、安心して研修を受講できる。（2期生）

～ 今後とも研修生一人一人に寄り添い、研修環境の充実・強化に取り組んでいきます ～